

三田線の混雑改善 6両→8両化に向けた議論スタート

(H28.3.14公営委員会/H28.11.28文書質問)



いつも混んでいてすみません。会社員出身の私は、通勤の満員電車を解消せねばと提案し続けた結果、昨年秋にはダイヤが改正されました。さらには強く訴えてきた**車両の6両から8両化**。ついにその**協議会が3月よりスタート**することになりました。

交通局の回答 10月21日よりダイヤ改正し増便。
約1260名分の定員確保、
混雑率は157%から149.9%へ改善

平成28年9月21日
東京都交通局

**三田線のダイヤ改正を実施します
輸送力を増強します！**

東京都交通局では、三田線のダイヤ改正を実施します。今回の改正により、平日の朝ラッシュ時間帯に輸送力を増強し、お客様の利便性の向上を図ります。概要は下記のとおりです。

記

1 ダイヤ改正日
【平日】 平成28年10月21日（金）
【土休日】 変更なし

2 主な改正内容
【平日】
朝の最混雑時に列車を1往復増発し輸送力を増強します。
・7時台の「高島平駅」発（目黒方面） 18本→19本
・8時台の「御成門駅」発（西高島平方面） 18本→19本

■「西高島平駅」発（7:48発）「白金高輪駅」行き（8:38着）列車の後に下記の時刻で新たに「高島平駅」発「御成門駅」行きを増発

目黒方面
高島平 7:52 新板橋 8:08 奥町 8:13 大手町 8:27 御成門 8:32

目指せ 働く都議 No.1

**本会議登壇数
第1位/127人中**
※平成28年10月 都庁調べ

質問総数第7位/127人中
（代表・一般・文書質問） ※平成28年10月 都庁調べ

提言質問164テーマ
都議会HPの会議録をご覧ください

ご意見ご要望もお聞かせ下さい。

一人一人に
寄りそう都議

今まで **558名**の
ご相談にのりました



始発から終電まで
各駅でご相談

エリア別に
避難所・AED
場所の記載

東京都議会議員
みやせ えいじ
宮瀬 英治

真にお困りの時は
080-8899-5841
ご連絡を！
子どもも対応

自都庁地下鉄対策 質問数No.1 消防団所属

徳丸小学校 高島平 二・三丁目地区
西台交番

一枚一枚 手作りポスター

プロフィール

1977年 2月1日生まれ。水瓶座、A型、巳年
すみれ保育園、松月院幼稚園 卒園

1989年 板橋区立高島第七小学校 卒業

1992年 板橋区立高島第二中学校 卒業

1995年 城西大学附属川越高等学校 卒業

1996年 早稲田大学商学部 障がい者介助サークル（幹事長）

1999年 NPO法人国際協力NGO風の会を設立。

2001年 ベネッセコーポレーション入社 たまひよなど担当

2012年 ベネッセコーポレーション退社

2013年 都議選 みんなの党から立候補し初当選

- NGO代表としてカンボジア政府より2度「**国家建設第一等勲章**」を受賞
- Parentingカンパニー優秀賞（しまじろう、たまひよ）、営業年間MVP、新規PJ社長賞（ベネッセより）
- 東日本大震災直後におむつ5万枚などの支援にて感謝状—宮城県より ● 志村消防団 第7分団所属

2003年（平成15年）9月5日 金曜日 14版 第2東京 30

給料もはたき70万円分

国際協力団体の宮瀬さん

朝日新聞にて
NGO活動が紹介

真にお困りの時はどなたでも
お気軽にご連絡ください **子どもも対応**

080-8899-5841 24時間
対応

東京都議会議員 **宮瀬英治**



高島平事務所 〒175-0082 板橋区高島平8-21-6

TEL/FAX.03-6906-9855 info@miyase-eiji.net

http://miyase-eiji.net 宮瀬英治 検索



← 万が一の時の為に切り離してお持ち下さい

都議会 レポート

東京改革都議団
（旧民進党都議団・都議会維新の党）

【発行】 宮瀬英治
東京都板橋区高島平8-21-6

2017
新年号

ベネッセ11年

NGO17年

志村消防団4年

松月院幼稚園・高島7小・高島2中出身

小池知事と共に都政大改革

私は業界、宗教団体などの支援を一切受けていない、しがらみのない都議です。既得権益や都庁の旧体質と闘ってきましたが、悔しい思いを強いられました。しかし、新知事誕生以来、小池知事から「改革を共に進める仲間」と認められ、多くの改革を提言し、実現して参りました。

小池知事へ提言→実現！

- 1 豊洲問題で明らかになった都の隠蔽体質や汚職打破のため
第三者弁護士による「**公益外部通報制度**」の創設
- 2 都議主催のパーティーや会合に都職員が参加することの自粛
「**馴れ合い防止通達**」の指示
- 3 都議のあっせん収賄や利益誘導に繋がりがねない
「**役所への口利きをすべて記録し公開する制度**」の創設

今後も都政大改革のために既得権益の打破に取り組みます

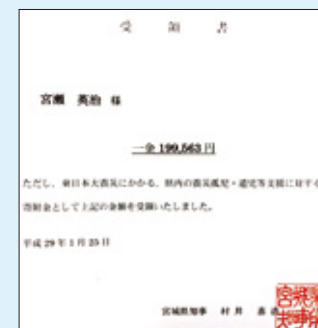
情報公開

談合

天下り

私も月給を3割カット

小池知事が給与を半減させました。私も「改革への本気の覚悟」を示すため、12月分の給与から毎月、税引き後の手取り3割をカットし、宮城県の震災孤児事業に寄付いたしました。今任期終了まで続けます。議会でも給与削減に向け尽力します。**私は、当選後、一貫して企業や団体献金を一円も受け取っていません。**



費用弁償

交通費の
1日1万円の
受け取り拒否



公用車

一度も使用
していません



政務活動費

飲食不使用、
HPで
全公開



毎月給3割減

震災孤児に寄付



首都直下地震対策の提言NO1へ 都民を守る！

私が必ず都議会で質疑や提言しているテーマが災害対策。**首都直下地震が起こる確率は30年以内に7割、死傷者16万人**。17年間のNGO経験と現役の消防団員の知見から全58提言の一部を紹介します。

1 高層住宅や団地の震災対策を！ (H28.2.1 住宅審議会)

高島平団地を例に、停電でエレベーターが止まり支援物資が受けられない、高齢者が被災を周囲に伝えられない危険性を訴え、対策の改善を求めています。

2 災害拠点病院と医師会との連携がスタート (H27.12.9 本会議 H28.11.28 文書質問)

実現

豊島病院・健康長寿医療センター・日大病院・帝京病院などの災害拠点病院と地元医師会との連携訓練がありました。提案により今後は病院前での救護所開設訓練などが開始されます。

3 災害拠点病院の電源確保へ (H27.12.9 本会議、他多数)

非常用電源が浸水しやすい場所にある、燃料備蓄が足りない病院を独自調査により突き止め、改善につなげました。さらに備蓄量を3日から5日に増やせるよう提案中。

4 消防団へAEDを配備！ (H27.12.9 本会議 H28.11.28 文書質問)

実現予定

私がいる**志村消防団第七分団**でも消火活動だけでなく、スポーツ大会などの地域イベントで特別警戒をしています。団員には救命技能はありますが、消防団にはAEDがありませんでした。

5 備蓄倉庫の戦略的な配備 (H27.10.9 本会議 H28.6.1 文書質問)

実現

都には避難生活のため備蓄倉庫がありますが、板橋区を含む城北地域には一つもありませんでした。提言により**旧健康長寿医療センター跡地**に31年度以降に備蓄倉庫が完成予定です。

6 コンビニにAEDを！ (H27.12.9 本会議 H28.9.28 文書質問)

心停止による搬送は主に夜間や早朝、年間1.2万人。コンビニにAEDがあれば24時間対応が可能に。早急に支援すべきと指摘し、都は「まずは夜間も含めたAEDマップ作成を急ぐ」としました。

7 実践的な防災訓練のために (H26.12.18 本会議 H28.9.28 文書質問)

実現

「訓練がマンネリ化、実践的な訓練にしたい」「参加者が毎回同じ」といったお悩みを議会で代弁。来年度より訓練に**振動と映像で災害を疑似体験できる車の導入、防災コンサルタント派遣**が決定。 ※詳細はお問い合わせ下さい

8 地下鉄の避難対策が充実へ (H27.11.12 公営企業委員会 H28.11.9 決算委員会)

実現

災害時は駅ホームで乗客を降ろし、地上にある避難所まで誘導します。しかし災害直後には避難所はまだ開設されていない矛盾を追及。今後は**三田線と駅がある板橋区**との協議が開始・拡充されます。

9 生徒の命を守る学校防災が見直しへ (H28.11.8 文教委員会)

実現

学校自体が行うべき自衛消防訓練と生徒との防災訓練。その全体像や内容を教育庁が把握していないことを突き止め、改善につなげました。今後、訓練や研修も改善されます。

10 都立公園の防災力向上へ (H28.6.1/H28.11.28 文書質問)

実現

他区に比べ区内の**城北中央公園・赤塚公園・浮間公園**では対応が遅れており、早急に改善すべきと指摘。非常用電源・デジタルサイネージ・かまどベンチ などが平成36年までに整備予定。

しがらみのない立場で既得権益と戦う

東京五輪の費用高騰の責任を明確に



2020年東京五輪の関連設備費が1538億、4584億、2241億円と変動しました。その理由を都は資材や人件費の高騰としていましたが、民間企業ではしっかりとそれらを見越して見積もりを立てるのが常識です。**費用高騰に対する反省も総括も責任の所在も明らかにすることなく、都民の税金を投入することは許されない**と激しく追及しましたが、都からの答弁ははぐらかすものばかり。今後も、ロンドン大会を習い予算と進行管理の一元化を強く求めて費用削減を努めてまいります。

豊洲問題で都の矛盾を追及

「有害物質を事前に確認するように」という地下空間の入り口看板に注目。都が建設段階から危険を認識していた証と厳しく追及。都民には「すぐに健康に影響はない」としながら、都の職員には注意を促しているのは都民軽視と言わざるを得ません。また私の資料請求によって石原元都知事からの質問状の回答が公開されましたが、今後は原因究明のため**百条委員会、石原氏の参考人招致**を求めます。安心安全が確保されないままの豊洲移転には反対です。

血税をムダにするな！お役所仕事を撲滅せよ！

「予算は使うが効果はわからない」「お金は使って終わり」といったお役所仕事。例えば、DV対策では今のDV被害者数を、外国人誘致活動ではその**現状数値を把握しておらず、したがって適切な目標数値もありません**。事業評価もわずか2行程度。これでは費用対効果も戦略も何もありません。今後は、都の予算13兆円分2600ある全ての事業に対して、数値による正しい現状把握、目標数値の設定、厳格な事業評価をするべきです。

小池知事の回答 **ご指摘の点を踏まえ、全事業に終期を設定するなど改革本部で議論し一層の改善に努める**

水道、バス事業など一部の都の公営企業では赤字が続いています。今後も黒字化に向けた見通しが立っていないにもかかわらず、局では**中長期経営計画を立てる意思すらありません**。民間企業では考えられません。水道やバス事業がつぶれないよう11あるすべての公営企業が早急に中長期経営計画を策定するべきです。

小池知事の回答 **公営企業の経営の見直しについても都政改革本部で議論の対象にし一層の改善に努める**

景気、年金問題は少子化対応で！不妊教育スタート



ベネッセでたまひよ担当時代

働いても給与が上がらぬ理由の一つが、子どもが減少し国内市場が縮小していること。年金問題もまたしかり。しかし都の出生率は1.15と全国最低です。都の不妊治療助成も年々増え、年間2万人に。支援をさらに強化すると同時に、人生の早い段階から男女双方に妊娠出産に関する正確な情報を伝えることも大切です。現在、**都立高校で正しい妊娠出産、特に不妊教育がなされていません**が、長期的な少子化対策として改善するべきです。

教育庁の回答 **生徒たちが不妊問題などに関する医学的・科学的に正しい知識を得られるよう指導する**